

全日本キス投げ釣り選手権大会

第 88 回 全日本キス投げ釣り選手権大会 要項

■開催日	平成 20 年 6 月 15 日 日曜日 (雨天決行)
■開催場所	別紙一覧表の会場
■参加資格	全日本サーフキャスティング連盟所属の会員に限る。
■参加費	1 名 1,000 円 (高校生以下の少年と女性会員は 500 円)
■竿数制限	使用竿数は一人 3 本以内
■バジデザイン募集	バジデザインを募集します。作品は 5 月 2 日 (金) プロジェクト必着で送ってください。
■参加申し込み	
1	所定の用紙(全日本サーフの 4 枚複写式名簿用紙)にクラブ単位で会場ごとの参加者名簿を作成し参加費を添えて所属協会に申し込む。 (ホームページの釣り大会参加名簿様式を使用することも出来ます)
2	各協会は自協会分を取り纏め、大会参加申請総括表(様式-2)を作成し、参加者名簿(協会保存用を除く)と参加費(郵便為替)を添えて締め切りの 5 月 25 日(日)必着 でプロジェクトに送付する。
3	全国どこの会場に参加しても良いが、参加者名簿は必ず会場ごとに作成し、記入する代表者名は、その会場に参加する者の中から選んで記入する。 したがって住所、氏名、電話番号もその代表者のものを記入すること。
4	締切日以後の参加申し込み及び会場変更は認めない。
5	申し込んだ会場が特別な理由無く、2クラブ、10 名に満たない場合は会場を取り消し、プロジェクトから該当者に連絡する、この場合は会場変更を認める。
6	参加者名簿の記入に際し、会場No.と会場名を照合すること。会場No.と会場名が違っている場合は会場No.が優先する。
■大会当日の受付と出発・終了	
1	申し込み会場の受付場所で、受付時間内(午前 1 時～午前 1 時 30 分)にクラブ単位で実参加者とペーパー参加者の申告をし、各人が審査票を受け取り会場責任者の指示に従い午前 1 時 30 分より出発する。
2	受付をしなかった場合、又は受け付け時間前に釣り場へ入った場合(場所取りとみなされる行為)は失格とする。
3	申し込んだ会場の参加予定者がクラブ単位で全員不参加となった場合、参加代表者は必ず事前に会場責任者に連絡すること。
4	荒天などの理由により会場責任者の判断で会場を変更することがある。この場合は参加クラブへの連絡を完全に行い、混乱の起こらないようにすること。
5	対象魚が釣れなかった場合でも各クラブの代表者は、会場責任者に釣りが終わったことを報告して帰宅すること。
■審査	
1	受付をした会場の指定された場所で時間内(午前 11 時～午前 11 時 30 分)に検寸審査を受ける。
2	審査時間に遅れた場合は理由の如何に拘わらず失格とする。
3	審査を受ける者は自身で本賞の部(シロギス・キュウセン)・他魚の部いずれかを選択して審査を受ける。
4	審査票には所定の事項を漏れなく楷書で記入し、特に氏名はフルネームでフリガナも明記し会員番号(9 桁)は必ず記入すること。
5	検寸魚の最低基準は本賞 23cm、他魚は全日本サーフ大物・特別大物基準寸法以上(実寸)とする。尚、本賞・他魚ともに、それぞれ同じ部門の全匹数を記入し、又、大物調査の必要上、対象大物ランク魚は全魚種検寸記載する。
6	著しく鮮度が悪いと認められるものは、会場責任者の判断で失格とする。
7	会場責任者は審査の公正を期するため他クラブの参加者に立会いをお願いしてください。
8	会場責任者は希望者には大物証明書を発行してください。
■表彰	
1	本賞(シロギス・キュウセン)・他魚とも一匹の長寸とし、同寸の場合は同じ部門の匹数の多い方を上位とする。(同

	寸・同匹数の場合は同順位とする。)
2	一人一賞とし、入賞は参加総数の約 20%、比率は本賞 4 他魚 1 とする。
3	本賞・他魚を問わず、大物ランク魚は大物賞申請を心掛けてください。
■注意事項	
1	正規の渡船以外のゴムボート・軽ボート等での渡礁を禁ずる。渡船利用の場合は救命胴衣着用のこと。
2	連盟のビッグイベントを意義あるものにする為、大会に参加・不参加に関わり無く、連盟会員の大会前日の釣りを禁止する。不参加者は大会当日の釣りも自粛の事。 ※注:重複する外部行事への参加については、連盟規約細則第 5 章第 6 条 2 項、3 項を参照のこと。
3	全日本サーフの事故防止規程を守り行動の安全に十分配慮すること。
4	全日本サーフの会員として誇りと自覚を持ち、規律ある行動を取ることを。
5	このほか大会参加のマナーに反する行為、公正を害する行為については全て失格の対象とする。
6	釣り場での焚き火は防災上の理由から禁止する。